

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ピアチェーレ			
○保護者評価実施期間	2026年 2月 13日 ～ 2026年 2月 21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数)	30
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日 ～ 2026年 2月 10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども自身がやりたいこと、やってみたいことを選択して活動できる。	子どもの興味関心などを理解した上で、子どもに合わせた課題や活動を準備している。	活動が単調なものにならないよう職員間で子どもの様子を共有しながら課題や活動を考えていく。年齢に合わせた役割分担を活動に取り入れている。
2	医療的ケアのある子どもも安全面に配慮しながら一緒に活動して過ごしている。異年齢混合の集団の中で過ごしていること。	看護師が付き添いながら外活動や他の子どもとの関りが持てる環境を整えている。様々な経験ができる活動を取り入れている。	医療的ケア児一人一人のアセスメントをよりしっかり行い、できること、できそうなことにアプローチした活動を考えていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもの活動が同じような内容になりがちである。	子ども自身がやりたいことを選択するので、同じ活動に偏りがちになる。	外遊びや大人数で取り組むゲームなどを企画し、関りの幅を広げていく。
2	医療的ケア児の急変時の対応がスムーズに行えていない。地域交流の場が少ない。	医療的ケア児の容態や周りの状況がその時々で違うため、臨機応変な対応が求められる。	急変時対応のシミュレーションを重ね、職員一人一人の動きと事業所間の連携方法について確立する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ピアチェーレ

公表日 2026年3月10日

利用児童数 33

回収数 30 (同一世帯含む)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	☐	☐				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	☐	☐		☐	スタッフの入れ替えが把握しきれていない。もう少し増やしてほしい。	増やせるよう引き続き努力いたします。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	☐	☐		☐		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	☐	☐				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	☐					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	☐	☐		☐		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	☐	☐		☐		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	☐	☐		☐		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	☐	☐		☐		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	☐			☐		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	☐	☐	☐	☐		児童クラブ等との交流はありませんが、在籍児童の学校行事に他校児童を連れて行き、見学や実際に参加することで交流を図っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	☐	☐				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	☐	☐		☐		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	☐	☐		☐		ペアレントトレーニングについては事業所での実施は難しいので市で行っているものを情報提供させていただきました。その他の研修については今後検討実施して参ります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	☐	☐				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	☐	☐	☐		面談はないです。玄関先ではなくもう少し子供の様子を知りたい。	面談につきましては早急に実施して参ります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	☐	☐				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	☐	☐	☐	☐		

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○	○				
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○	○				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	○	○				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○			○		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	○	○		○		避難訓練は隔月で実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	○					避難訓練は隔月で実施しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○	○				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	○	○		○		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	○	○				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	○	○			いつも楽しみにして、1日1日を過ごしています。ありがとうございます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	○					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ピアチェーレ		2026年 3月 10日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		医ケアの児童に対しては専用室を準備している。	バギーの室内外の移動用のスロープを準備する予定
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			当法人は外部による第三者評価の制度を取り入れていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人全体の研修会は毎月開催。外部研修に積極的に参加したり、外部から講師を招いての研修も実施している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			インフォーマルなアセスメントが中心になりがちなので、定期的にフォーマルなアセスメントをしていきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		長期休みなどは長時間利用になるので、子どもの希望や意見を取り入れてマンネリ化しないようにしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		前日の振り返りから、必要であれば活動内容の変更などを行っている。	質のいい話し合いを設けていきたい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎時にその日の児童の様子を聞いている。学校から毎月の利用予定表をいただいたり、緊急時には都度連絡を取り合える関係性を作っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		法人内の児童発達支援センターと連携している	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		児童クラブ等との交流はないが、在籍児童の学校行事に他校児童を連れて行き、見学や実際に参加することで交流を図っている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡ノートやSMSの活用。送迎時にも様子をお伝えしている。	連絡が取りにくい保護者に対して、どうやって子どもの話を伝えられるか。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○			引き続き検討していく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		連絡ノートやSMSの活用。送迎時にも様子をお伝えしている。	連絡が取りにくい保護者に対して、どうやって子どもの話を伝えられるか。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			児童の特性上、事業所の行事に他者の参加はなかなか難しいケースがある。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーのある児童の在籍なし。今後アレルギーのある児童が利用を開始した場合には医師の指示書に基づく対応をしていく。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束の事例なし	